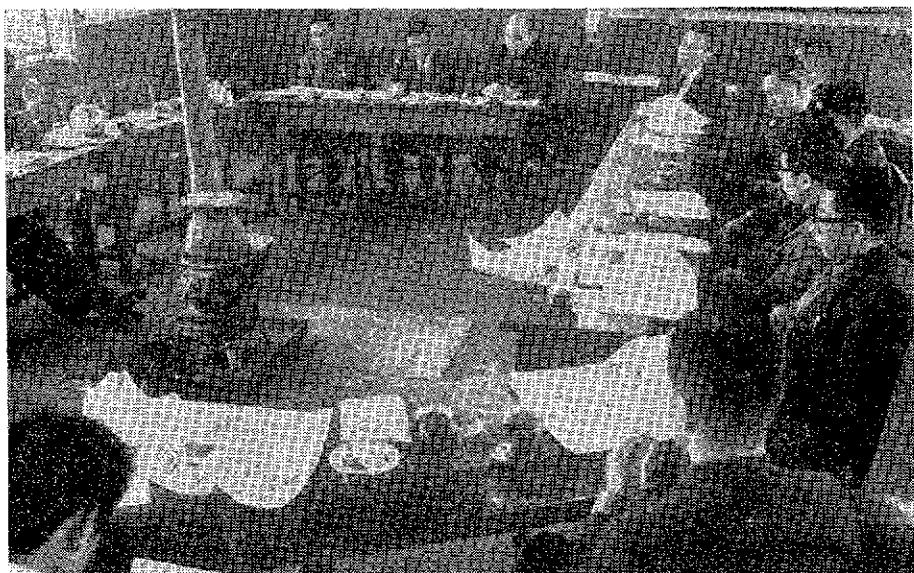


みた「期待される人間像」



〔県公民館職員講習のあい間をみて行なわれた『放談会』〕

八木型はあられる人とはいやだ。『人間像』のドレインになつてクサリにうがれるやうにはならないでください。クサリを離くことあると悪い。

伊藤六十八才平井あやかすなみ。
（伊藤六十八才平井あやかすなみ）

どうし不要である。兵隊に行つてきたいのがあるのになつてものには生理的抵抗を感じる。

（伊藤六十八才平井あやかすなみ）
（伊藤六十八才平井あやかすなみ）

<p>山本文組の名で発表するもの</p> <p>であるとする と、自ら抱束 力が生じてく るから問題で ある。いまさ ういふう意 図で出すのか わからぬ。</p> <p>指揮者自身 を喪失したか らだとう話 をきいたが、 すでに教育基 そ の 他</p>	<p>放談したおもな 人たち</p> <p>司会者</p> <p>矢端甫夫氏（直江津市）</p> <p>発言者</p> <p>山本精一氏（新井市） 中村忠氏（新井市） 大島賢吾氏（新瀬市） 伊藤高氏（新瀬市） 八木岩夫氏（見附市） 星勇氏（見附市） 皆川溪司氏（長岡市） 丸田義雄氏（長岡市）</p>
---	--

司会さつそくながら、この問題
にこじらせてさんの率直なご意見
をお聞きしたい。

人間像のドレイになるな

中教審提出の『期待される人間像』(本紙三月号所載)が名
方面で論議を呼んでいるが、本紙でも三月十日から一ヶ月間
岡市農研会館で行なわれた『県公民館員講習』の受講者から
ら、この問題に対する放談会をやつてもいた。金殿に批判的
ムードが支配的で、結論を出すには至らなかつたが、お互いに
認識を深めのに広いに役立つたといふ。 (編集子)

サンブルとしてみると、司会しかしてたとえ深窓の理想であっても、何らかの手がかりがなければ、うしむならないといふことも考えられる。そこで、一つのサンブルとしての目標が必要だとうといふから、山本されただ『人間像』だとひづけようか。う人は、どうがわるいのが具体的に指摘すべきだ。

話のタネ

公民館不用論

憲法で充々

分

員（社教課職員兼務）で経験した対して、専任の館主二、三年の公園館係のが「公民館」の側からは、同時にから反対した。館不実論を唱えた。要請はする者がいなかつた。ときあつて、かねて一人の演説師の公民館でやつてゐること民館主事が、斯うしげじいなのは、すべて社教課でもやれるし発言をした。「県内の多くの都市ばかりだ。べくも職員もおら市の中に社会教育課が整備され、弱体な館（やかた）で細々れつづつあり、職員もある程度とお座なりの活動をやつてゐる確実されていて、行政としてのうちも機械も整備された。社会教育といつものが一応かた社会教育課すべてやれぬこと、もをなしてゐることの場合※

